

いずも市議会だより



出雲市で1,855人の新成人
(1月6日 出雲市民会館)



あけまして
おめでとうございます
本年もよろしく
お願いいたします

年賀状などのあいさつ状の禁止

議員は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。

- 議会の動き 2
- 委員会報告 3
- 請願・陳情・意見書 4
- 委員長に聞く 6

- 一般質問 7
- 視察報告 16
- 3市議会交流会議・編集後記 20

12月定例会市議会 報告

平成19年度出雲市一般会計補正予算など35議案を可決

一般会計11億8,800万円の増額補正、特別会計(合計)1億1,360万円の増額補正

12月定例会市議会では、執行部から30件の議案が提案されました。

その内容は、「出雲市一般会計第4回補正予算」など予算案件9件、市が収集する一般廃棄物などの手数料の改定を行う「出雲市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」などの条例案件11件、出雲市新庁舎建築工事にかかる「工事請負契約の締結について」などその他の案件が8件、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める人事案件2件が提出され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

議員提出議案としては、「出雲市議会基本条例」「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」「割賦販売法の抜本的改正に関する意見書」「森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書」「道路整備の財源確保に関する意見書」の5議案を提出し、いずれも原案とおり可決しました。

平成19年度

第4回

出雲市議会(定例会)会期日程

開会 平成19年(2007)11月29日(木)

閉会 平成19年(2007)12月17日(月)

会期19日間

11月29日(木) 本会議

(開会、議案上程・説明、委員長報告、討論、採決)

庁舎建設特別委員会

12月 3日(月) 本会議(一般質問・1日目)

4日(火) 本会議(一般質問・2日目)

5日(水) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)

7日(金) 総務委員会

10日(月) 文教厚生委員会

11日(火) 環境経済委員会

12日(水) 建設水道委員会

13日(木) 庁舎建設特別委員会

17日(月) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

性同一性障害について勉強会を開催

今定例会市議会に、「性同一性障害について意見書の提出を求める請願」が提出されました。一般的には、この障害に対する社会的認知や、抱える問題への理解は進んでおらず、議会内部に設けている地域医療福祉協議会で勉強することとなりました。

当日は請願者の上田地優(ちひろ)代表から、どのような障害なのか、また当事者は今どのような問題に直面しているのか説明を受けました。

身体的性別と、性の自己意識(ジェンダー)とが一致しない場合を「性同一性障害」と呼びます。特徴としては、自分の果たしている性役割に対して、不全感・不適切感を抱き続けていることにあり、言葉づかいや仕草、服装などについて、反対の性のそれらを望むことなどがあげられます。

請願の内容は、専門家の要請や医療機関の整備について、研修会や啓発活動の実施、情報提供、法律の見直し整備などを求めるものであり、今後も勉強会などを通じて、議員一人ひとりの知識と理解を進めることが、社会的認知度向上へつながり、願意への醸成へと進んでいくものと考えます。

(地域医療福祉協議会 会長 多々納剛人 記)



◆◆常任委員会報告◆◆

市職員人件費を削減

総務委員会

議案八件、請願一件、陳情三件の審査を行い、議案については、すべて可決しました。

今回、執行部から、行財政改革の一環として、今後三年間で、総人件費を七億円あまり抑制する計画が示され、その一環として、議案四件が示されました。

これらの議案は、平成十九年の島根県人事委員会勧告に基づいた県に準じて、期末手当の支給割合を、一般職の職員で〇・二カ月分、特別職の職員で

〇・一五カ月引き下げることや、現給保障制度を廃止するものです。

また、これに伴い、一般会計補正予算として、人件費の減など四千二百万円の減額が計上されました。

委員からは、「人件費総額を抑制することは妥当であるが、出雲市経済の縮小を食い止めるため、出雲市全体の景気浮揚と雇用拡大を確実に促進することが重要である」など、市の具体的な景気浮揚策を求める意見が出されました。

「性同一性障害者」の方への理解を深めたい

文教厚生委員会

本委員会には五件の請願と三件の陳情の付

託を受けました。

「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の見直し等を求める意見書の提出などを求める請願は、「性同一性障害者」についての専門家の養成や、医療機関の整備を協議すること。理解を深めるための研修会などの実施。

また、平成十六年に施行された法律の全面見直しを求める意見書の提出を求められています。

提出者の方からも詳細な説明を受け審議しました。しかし「性同一性障害者」のことについては、もっと理解を深めることが重要と判断し、継続

して審査することになりました。

また「後期高齢者医療制度の抜本的見直しに関する請願」は、来年度から実施される後期高齢者医療制度について、後期高齢者に保険料が課せられることや、滞納者に保険証の不交付などの制裁措置があることなどから、抜本的な見直しを求め、意見書の提出を求められています。

願意は理解できるものの、この制度は緒に就いたばかりで抜本的な見直しは必要であり趣旨採択としました。なお、この請願は採択、不採択、継続審査などの意見に分かれました。

「市民に十分な理解と説明を」出雲阿國座整備事業関連予算を議論

環境経済委員会

今回の補正予算に出雲阿國座整備事業関連予算一億九千二百九十万円が計上され、可決しました。主な内容は

用地取得費・建築設計費などです。

しかし、当初の総事業費は三十億円といわれていましたが、今



阿國座建設予定地の出雲大社球場

回、想定試算として四十二億円という数字が示されました。そこで、「管理運営費についても、具体的に綿密な数字を提出すること」「事業内容も伝統文化・古典芸能・本物趣向とあるが、くわしい事業計画や営業日数などを示すこと」「観光に対しての相乗効果

が、数字で出せないのか」などの意見が多数ありました。今後、市民に対して十分な説明をし、完成のめどを平成二十二年中としながらも、それまでの間に時間をかけて議論・検討した上で事業を進めることを求めました。

生活基盤整備を求める請願、陳情を採択

建設水道委員会

請願関係では、「鷺浦地区の漁業集落排水

事業の早期導入を求める請願」「湖陵神西新



漁業集落排水事業の早期導入が求められる鷺浦地区

町線（仮称）の整備についての請願」、また、「林道と久輪線の抜本的な整備改良の継続を求める陳情」については、いずれも現地視察を行い、請願、陳情者から詳細な説明を受け、各案件ともそれぞれに趣旨も十分に理解できることから、審査の結果採択しました。

特に、鷺浦地区の漁業集落排水事業の請願については、自治会役員から、高齢化率が限界集落といわれる五〇%を超えながらも、地域住民あげての定住促進に取り組み観点から、早期着手に向けての強い要望が表明されました。

さらには、海や河川の水質汚濁防止のため、完成後接続率の向上には、地域をあげて取り組むとのことです。現在、出雲市では、下水道接続率の向上が課題とされており、当該地区での取り組みは、評価されるものです。

◆特別委員会報告◆

「資材・物資の地元調達についての陳情」を採択

庁舎建設特別委員会

十二月議会で付託を受けた審議案件は、「市庁舎建設に伴う職別・設備工事や建設関連資材・物資の地元調達についての陳情」一件でした。陳情の要旨は、新庁舎建設にあたっては、地元企業による特別共同企業体に発注するとともに、建設に伴う職別・設備工事、建設関連資材や物資の調達も地元企業が受注できるように発注先企業に働きかけを求めるものです。

この件については、平成十八年九月議会においても同様の趣旨の「新庁舎建設に関する陳情書」が提出され、採択されており、これを受けて執行部では地元企業の技術力向上への努力、地域経済への

波及効果などが検討されました。

十一月十五日および十六日に主体工事、設備工事とも市内業者を構成員とする特別共同企業体を対象に入札を実施され、十二月議会初日に工事請負契約の締結にかかる議案が提案され、可決されました。

今回の入札公告の際には、建設関連資材の調達や下請け業者に関して、地元の業者を優先するよう明記されています。

また、今後においても工事受注企業に建設関連資材などの調達を地元企業から行うよう指導する旨の説明があり、審査した結果、本陳情を採択することとしました。

請願・陳情の審議結果

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
11	「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の見直し等を求める意見書の提出等を求める請願	松江市東津田町 性同一性障害を知る会「紫の風」 代表 上田 地優	継続審査 (賛成多数)
12	健康保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択に関する請願	松江市嫁島町 島根県保険医協会 会長 古沢 正治	趣旨採択 (賛成多数)
13	森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書採択についての請願	松江市内中原町 森林労連 全国林野関連労働組合 島根森林管理署分会 執行委員長 深田 浩嗣	採択 (賛成全員)
14	鷺浦地区の漁業集落排水事業の早期導入を求める請願	出雲市大社町 大社町鷺浦地区漁業集落排水事業推進協議会 会長 安部 勇	採択 (賛成全員)
15	湖陵神西新町線(仮称)の整備についての請願	出雲市湖陵町 湖陵町区長会 会長 坂根 忠徳 他1名	採択 (賛成全員)
16	悪質商法被害を助長するクレジットの被害を防止するための割賦販売法の抜本的改正に関する請願	出雲市姫原 出雲地区労働者福祉協議会 会長 藤江 晃	採択 (賛成全員)

◆ 請願・陳情・意見書 ◆

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
17	出雲市立中学校吹奏楽部における保有楽器の更新に対する補助金の予算化及びその支給を求める請願	出雲市大社町 出雲地区中学校吹奏楽部保護者会連絡協議会 会長 杉原 敏之 他12名	趣旨採択 (賛成多数)
18	最低保障年金制度の確立を求める請願	簸川郡斐川町 全日本年金者組合島根県本部 中部支部支部長 足立 清次	不採択 (賛成多数)
	なぜ不採択	最低保障年金を支給するためには、年金財源の確保が十分でないこと。また、現行の年金制度そのものが、無年金者や低年金高齢者の存在など多くの解決すべき課題を抱えていることから、制度の確立を求めるのは現段階では賛同できないと判断しました。	
19	後期高齢者医療制度の抜本的見直しに関する請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	趣旨採択 (賛成多数)

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
7	鳶巣幼稚園跡地の有効利用についての陳情	出雲市東林木町 鳶巣自治協会 会長 三代 孝行 他1名	採択 (賛成全員)
8	出雲市役所新庁舎建設に伴う職別・設備工事や建設関連資材・物資の地元調達についての陳情	出雲市大津町 出雲商工会議所 会頭 江田 小鷹	採択 (賛成全員)
9	父子家庭における手当てについての陳情	出雲市大社町 山根 亮輔	採択 (賛成全員)
10	平成20年度出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 萬代 宣雄 他1名	採択 (賛成全員)
11	出雲市内告知放送における助成についての陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 萬代 宣雄	趣旨採択 (賛成全員)
12	子育てと仕事が楽しく両立できる保育制度の充実に対する陳情	出雲市大津町 出雲市認可保育所(園)保護者会連合会 会長 梶 博明 他32名	趣旨採択 (賛成多数)
13	いちじく館(仮称)建設に関する陳情	出雲市多伎町 多伎町連合自治会 会長 鳥屋原 敏夫 他2名	採択 (賛成全員)
14	林道和久輪線の抜本的な整備改良継続を求める陳情	出雲市上島町 林道和久輪線改良促進期成同盟会 会長 金山 武男 他4名	採択 (賛成全員)
15	「ゆめタウン出雲」の outlet に伴う市道四路30号線の歩道設置等についての陳情	出雲市大塚町 大塚南5町内 自治会長 黒田 眞一 他13名	継続審査 (賛成全員)
16	島根原子力発電所立地隣接危険圏域に係わる防災避難ルートの確立と防災道路新設整備費用負担を中国電力に要求と安全協定締結を求める陳情	出雲市国富町 木佐 宏	継続審査 (賛成全員)

【継続審査中の請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
9	出雲市内にフィッシャリーナの設置・整備に関する請願	出雲市知井宮町 出雲市にフィッシャリーナを作る会 代表 妹尾 博幸 他9名	趣旨採択 (賛成全員)

意見書の審議結果

【意見書】

意見書番号	件名	審議結果
7	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書	原案可決 (賛成全員)
8	森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書	原案可決 (賛成全員)
9	道路整備の財源確保に関する意見書	原案可決 (賛成多数)

市議会基本条例検討委員会委員長に聞く 県内初、市議会基本条例の制定について

市議会基本条例検討委員会 川上幸博委員長

インタビュー | 広報委員会 杉谷寿之 委員



川上幸博委員長

の背景からお聞きします。

川上 平成十七年三月の合併により、「新出雲市」が誕生してから二年あまりが経過しました。地方分権改革により地方公共団体の責任が増すな

出雲市議会では、県内で最初に議会基本条例を制定しました。この検討委員会の委員長を務めた川上幸博議員に、条例制定の背景や内容について聞きました。

杉谷 このたび、議会基本条例が制定されましたが、まずその制定

ましたか？

川上 平成十九年三月より、寺田前議長、荒木前副議長により素案が検討され、六月より素案を基に検討を重ねました。検討委員会は、今岡議長、宮本副議長および寺田前議長、荒木前副議長と各会派から一人ずつの計十四人の委員で構成しました。六月から十一月までの五カ月間で、計七回開催しました。その間、各委員からの意見がおおむね出尽くしたところで、私と副委員長とで、全国市議会議長会法制部と協議を行い、条例案として提案しました。

杉谷 委員会では、どのような検討が行われたのですか？

川上 素案を基に、条例の一章ずつ意見交換を行いました。その中でも、

第一章の目的および基本方針については、議員に、議会基本条例とは何であるかという理解を深めてもらうために、十分時間をかけて行いました。そして、議会の基本的事項を定めることで、議会が活性化され、市民への情報発信の場となるよう検討を重ねました。

杉谷 条例の具体的な内容は、どうでしょうか？

川上 議員の役割は何か、議会の役割は何かを明記し、出雲市の全体としての課題や、市民のみなさんの意向を把握したり、福祉の向上を目指したりといった活動方針が盛り込まれています。厳しくなる市の財政状況の中において、市政執行に対するチェック機能を強化したり、議員の政務調査費使途基準をきちんと守っていくこと、行政視察について市政へ有効に反映させたりすることなども明記しています。

また、議会の活性化策として、条例による

議員立法の推進などの政策立案機能の強化や、議会の公開や議会報告会の開催により、市民のみなさんへ情報を発信していくことも強調しています。

杉谷 条例の中で、出雲市議会の特徴的な項目がありますか？

川上 平成十八年四月より行われている本会議の一般質問での二問一答方式（項目ごとに質問と答弁を行う）についての項目があります。

また、本市は、長崎県諫早市、岡山県津山市との3市議会交流や、韓国釜山南区議会との交流などを行っています。このような交流を行っている市議会は、全国的にも少ないと思いますので、国内外の地方公共団体および議会との交流推進についても条例に盛り込みました。この二点が、主な特徴です。

杉谷 この条例制定を契機として、議会は今後どのように取り組んでいくのでしょうか？

川上 今後、地方分権

が進めば、議会の責任は、より一層重くなってくると思います。議会には、自治体の意思を決定する権限がありますから、議案などを審査する中で、市民の意見を聴くことはもちろんですが、さらに専門的な知識を持つ方からの意見を聴いて参考にすることも可能となりましたので、今後この制度が活用されることを期待します。

基本条例ができたことにより、議員一人一人が、市民の代表として、市政の発展のために精進していかなければならないという自覚が、より強くなってくると思います。

また、行財政改革や議会改革をさらに推進して、市民の期待にこたえらるとともに、行政と両輪となって出雲市の発展のためにがんばっていかうと考えています。

市政のここが聞きたい

一般質問

12月定例会市議会では19人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

石川 寿樹 議員(8ページ)

- ◎市所有施設の文化的活用
- 実質公債費比率

高野 成俊 議員(8ページ)

- ◎自治会加入率の向上と各地区の活性化の取り組みとして
- 竹林の拡大、荒廃から対策と活用について
- 森林再生の取り組みから松枯れ対策を問う
- 教育施設的环境と安全管理について

米山 広志 議員(8ページ)

- ◎県立出雲農林高等学校高松農場跡地
- 稼働停止施設
- 下水道の事業計画
- 出雲市新庁舎建設

多久和 康司 議員(9ページ)

- ◎斐川町との合併と消防受委託について

板倉 一郎 議員(9ページ)

- ◎出雲市の観光振興(大社門前町の再生)について
- 出雲市の産業について
- 出雲市の農業振興について

勝部 順子 議員(10ページ)

- ◎市長の市政運営に対する考え方について
- 福祉サービスの現状と対応について
- 中学卒業までの医療費の無料化を

大国 陽介 議員(10ページ)

- ◎住民税の減免制度の運用改善を
- 高すぎる保険料は引き下げるなど、市民の生活実態に即した国民健康保険となるよう改善を求める
- 学校に「競争と格差」を持ち込む全国学力テスト(全国学力・学習状況調査)の参加見直しを

牛尾 尚義 議員(11ページ)

- ◎生態系の保護について

萬代 輝正 議員(11ページ)

- ◎今市の商店街とゆめタウン出雲の連携による商業活性化について
- 民間活力の「ゆめタウン出雲」の経済波及効果はどれほどなのか
- ゆめタウン出雲周辺の資本整備事業の進捗と今後の計画を問う

川上 幸博 議員(12ページ)

- ◎出雲市の防災計画ならびに水防計画について問う
- 道路橋および道路の定期点検について
- 全国学力・学習調査、生活アンケート結果に基づいた改善点について

萬代 弘美 議員(12ページ)

- ◎新たな負担を強いる市営住宅駐車場の有料化案は、撤回を
- 出雲市立総合医療センターの運営は、公立病院として充実をはかることについて
- 神戸川の緊急改修の進捗と今後の抜本改修について

坂根 守 議員(12ページ)

- ◎斐川町からの提案「出雲の國広域連携推進研究会」について
- 中学校の部活動補助の充実を

西尾 敬 議員(13ページ)

- ◎有害鳥獣被害対策の徹底について
- 主要特産物の産地維持対策について
- 生活道整備の要望取りまとめ状況と整備方針について

杉谷 寿之 議員(13ページ)

- ◎料金や市税などの未納問題について
- 学校給食費の未納について
- 上下水道の普及率について

遠藤 力一 議員(14ページ)

- ◎学校の情報教育用パソコンと情報教育について
- 出雲生活バス運営状況について
- 首都圏観光PRイベントは必要か

広戸 恭一 議員(14ページ)

- ◎国民の食料確保を行う農業が産地維持のための、農業補助金制度について
- 18年度予算で、なぜ15億4千万円を使い残したか

曾田 盛雄 議員(15ページ)

- ◎地籍調査について
- 観光地の環境整備について
- 介護サービスについて

長廻 利行 議員(15ページ)

- ◎消防本部の火災出動体制について

珍部 全吾 議員

- 斐伊川・神戸川治水事業について
- 県・街路事業・今市古志線2工区について
- 市内にある不思議な看板について

石川 寿樹
市所有施設の文化的活用



①平成二十年十二月完成予定の新庁舎内に、多目的ホールやギャラリーなどが設置される予定である。こうした場所に、総合芸術文化祭などで選ばれた市民の優秀作品を年間通して展示・鑑賞できる

コーナーを設けてはどうか。
また、これらのコーナーの企画・運用については、市民からサポーターメンバーを募り、市民参加による運営方法を検討してはどうか。



青少年活動の拠点として取得される中穴道邸

②平成十九年三月の定例議会において、塩冶地区にある中穴道邸を、青少年活動の拠点施設として取得することが承認された。

塩冶地区は、大正期を代表する俳人、原石鼎の誕生の地でもある。中穴道邸を、原石鼎の記念館として整備する考えはないか。

市長
①市民の優秀作品はもとより、市が保有する

郷土作家などたくさんコレクションを、適宜展示していく考えです。

また、市民参加による運営方法も、検討したいと思います。
②提案のあった原石鼎記念館については、この地域が生んだ偉大な俳人として、和文化的学習や郷土史的学習の視点からも、この事業を進める中で、考えていきたいと思っています。

高野 成俊
各地区の活性化とニーズに
応える方策として



出雲市は山間地域、海岸地域、平野部、中心市街地など地域環境の違いにより、市内の各地区では地域独特の問題、課題がある。十一月二十四日の乙立地区を最後に市政フォーラムも終了したが、各地区ではさまざまな発言があり、地域独特の課題や要望があったと聞いている。地域のニーズに

応すべく、またその地域の最重要課題や事案を解決していく方策として、各自治協会に対して、自治協会加入世帯や地域の面積などを算定の基準にした交付金制度、地区活性化補助金（仮称）の導入を提案する。市長の所感を伺う。
市長
地域活性化の流れの中で各自治協会単位、

あるいは地元への配慮として、自由に活動できる予算の確保を提案いただきました。
全体としての財源の強化については、まだ来年度に向かつての方針を明らかにする段階ではありませんが、現段階における考え方と

して、来年度から各地区に、人口数などに応じた枠配分を行い、財源を自由に使っていたりするようなことも考えているところですが、質問に対する答えとして、ここに明らかにしておきます。

米山 広志
県立出雲農林高等学校
高松農場跡地の有効活用



県立出雲農林高等学校高松農場跡地については、旧出雲市時代の平成十四年九月に地元の高松自治協会ほか二団体から、西尾出雲市長と出雲市議会に陳情書が提出された。農場跡地の活用として「多目的運動広場として整備、住宅団地を造成すること」が旧出雲市議会で採択されている。平成十九年七月九日に島根県に提出された出雲市重点施策の中で、農場跡地の有効活用の一日も早い実現を求める要望がされている。

る。
①高松農場は何年度から使用されなくなったのか。
②要望書提出後の県の動き。
③県が方向性を明確化できない理由を伺う。
市長
①二万三千平方メートルの農場は、昭和三十八年に整備され、ぶどうやお茶などの栽培の実習場として利用されてきました。しかし、平成七年度から別途用地が確保され、徐々に実習場の移転が行われ、平成十三年度

以降は全く使用されなくなりました。
②市からの知事要望を踏まえ、財産処分の方
向で教育財産から普通
財産への移管について
協議を行っている

伺っています。
③農地としての転換は
難しいなどと、いろい
ろなことを言っていま
すが、知事の決断次第
です。



「セイタカアワダチソウ」が群生している県立出雲農林高校高松農場跡地

多久和 康司
斐川町との合併と
消防受委託との関係は



出雲市と斐川町は、
地理的にも歴史的にも
経済・文化や生活面
でも強い結びつきがあ

る。また、生活圏は市
町の行政区域を越えて
広がり、すでに出雲圏
域全体が一体的な活動

圏域となっている。さ
らに、十二月二日に国
道9号出雲バイパスが
開通し、今後、出雲圏
域のさらなる一体化が
図られる。
こうしたことを考え
ると、合併も徐々に成
熟させていく必要がある。
こうしたことを踏
まえ、斐川町との合併
と消防受委託について
の基本的な考え方、な
らびに斐川町との協議
の経過と今後について
伺う。



出雲バイパスの開通により出雲・斐川間の所要時間が短縮

市長

消防の問題は、住民
の生命や財産の保護と
いう基本的に重要な地
方行政の責務です。お
互いに相手の幸せ、住
民の幸せを考え解決し
なければなりません
が、これと合併問題は
別ですよという立場は
とれないのです。

このたび、斐川町か
ら、消防受委託の三年
間延長と研究会発足の
申し入れがありました。
つまり、広域連携

を推進するための研究
会を立ち上げ、お互い
に率直にいろんな課題
を出しながら勉強し、
その中で両市町統合に
向かっての道筋を見つ

け出していきたいとの
提案です。
このような立場で、
今後とも誠実に対応し
ていきたいという考え
方です。

板倉 一郎
交流人口二千万人を目指し、
大社門前町の再生を



出雲市の観光振興に
ついて、次の点を伺う。
①大社門前町の再生に
ついてどのように考え
ているのか。
②出雲阿國座の年間を
通しての催しを考えて
いるのか。
③出雲阿國座の稼働日
数は。
④期待できる経済効果
は。
⑤市民の理解をどのよ
うに求めているのか。

に温泉スタンドを整
備、また、平成二十一
年には、神門通りに、
大きな駐車場を開設し
ます。
②歌舞伎、能、狂言、
文楽など伝統的舞台芸
術の総合的な発信拠点
にします。参加いただ
く方も、本物志向の住
民参加や、日本を代表
する役者さん方の出演
を考えています。

市長

①歴史博物館と出雲阿
國座の二本柱を中心
に、いろいろなお店の
展開、街路整備、お土
産物店、旅館の整備な
ど総合的にやらなけれ
ばならない課題と思っ
ています。ご縁広場内

③年間三百日ぐらいの
稼働を目標に、最低で
も二百日から二百五十
日は稼働させたいと
思っています。
④現在、来場者の観光
消費額で、年間十四億
円前後の効果を試算し
ています。
⑤それぞれの地区、い

ろいろな機会に出かけ、今後とも、この問題について丁寧の説明

しながら、市民の皆さま方のご理解、ご賛同を得たいと思います。



再生が待たれる大社門前町

勝部 順子
「出雲阿國座」建設は、慎重に行うべきだ



平成の合併から三年目に入った。最近、市民から「市長は建物建設が多いけれど、財政は大丈夫？」などの声をよく聞く。中でも多い意見は「阿國座はい

らない」など否定的な声だ。いま少し、建設費や建設規模の縮小、建設時期の見直しなどに時間を割くべきではないか。私も、総事業費が

三十億円から四十二億円に増える見通しの報道に、大変驚いている。多くの市民の声を十分に聞かれることを強く要望する。

市長

見解をまったく異にするところです。合併した出雲市は何が違うかと言うと、教育や文化、科学に力を入れるところです。旧出雲市では観光戦略に限界がありました。今こそ観光、新しい産業を興す最大のチャンスです。合併前との違いはこの一点に絞られ、観光戦

略こそが大出雲市合併のいちばん大きな行政効果です。市政フォーラムでも、このことをずっと訴えています。今議会でも、出雲神話観光大

国の建設というものを、市政の大きな眼目にして訴えてきました。具体の事業は、歴史博物館と阿國座、この二本柱で全国の注目をここに集めます。そして所得の上がる、経済の発展する町を創る。これに尽きるわけです。

大國 陽介
住民税減免制度の運用改善を



市民負担が増す中で、滞納者への税金の取り立てが大変厳しい。不動産や預金、給与などの差し押さえは本年度、八十五件が行われている。市民に負担が押し付けられる一方で、阿國座など住民合意のない

事業が進められている。市民の声に耳を傾け、必要な施策を講じるとともに市民負担が少しでも軽くなるよう努力すべきだ。市民税減免の要綱では、所得減少に応じた減免割合が詳細に定められているが、相談に

行かれた方は、「生活困窮が証明されないとダメ」「プライベートルな内容に踏み込む書類の提出が必要」などと言われ、あきらめることを余儀なくされている。制度の運用と市民への対応が極めて不十分であり、改善を求め

財政部長

窓口では、面談により生活実態などの調査や聞き取りを行っています。そのなかで、税負担力が弱いと認めら

れる場合にのみ申請の勸奨を行っており、本年度の減免実績は現時点で一名です。減免要綱があるのに運用がほとんどされていないのは不可解だ。窓口で、門前払いされるのが実態ではないのか。

市長

適切にお話を聞き対応していく方向で、収納対策を強化しながら相談態勢も強化したいと考えますので、ご理解ください。



市役所の窓口



在来種に影響の出はじめた稗原ダム

牛尾 尚義

ブラックバス対策を考えよ



三年前に完成した稗原ダムに、従来いなかった外来魚のブラックバスがいる。魚食性が強く在来種のコイ・フナなどに影響が出ている。近辺の人が餌付けをしていたコイも最

近、小さなものは姿が見えなくなった。ブラックバス釣りを楽しむために心ない人が放流したものとと思われるが、下流の神戸川ではアユなどの養殖も行われており、繁殖力

の強いブラックバスが流出し、深刻な影響を与える恐れがある。今のうちに対策を考

市長

魚類に限らずすべての生物について、その地域に根ざした固有の生態系を守ることは、環境、文化を維持する上からも大切なことと認識しています。

法的には「外来生物法」が制定されており、外来種の移植を禁止しています。しかしこれは移植（ほかの場

所への移動）は禁じているものの、元の場所に返すキャッチ&リリースは許されているため、十分な効力を発揮していません。旧平

田市で制定されていた「在来生態系保護条例」（キャッチ&リリースも禁じている）のようなものを新市においても制定し、ブラックバスなどの外来種によって在来種が大きなダメージを受けることのないよう、生態系の維持に努めたいと思います。

萬代 輝正

既存商店街と「ゆめタウン出雲」の連携による商業活性化を



市として「ゆめタウン出雲」と連携したまちづくり、商業地域の形成に向け、どのような協議がされたのか伺う。また、開店後の集客をどのように生かし、広域的な視野での連携をいかに図るのか見解を伺う。

市長

イズミにおいて商工会議所を通じて、出店計画の説明をされ、連携を図るべく、循環パスの運行、共同イベントの開催、ポイントカードシステムの共有化、広告媒体の共有化などの提案もありま



開店後の交通量が心配される市道

市長

住民の皆さんの思いはいつも考えています。事前の心配は大変重要ですが、やはり実際にどうなるかということを見極めて、今以上の手当てが必要ならばやらせていただくし、イズミ経営者側にも強くお願いする決意です。

出雲商工会議所と今後とも協議の場を持ちながら、この広域圏での中心街の発展、あるいは周辺部の発展、全体として出雲が西部日本海域の本場の意味での中心のまちになっていくという戦いがこれから始まります。

市の責任として、生活環境に密接した地域住民への対応を伺う。

川上 幸博
防災計画の見直しは行われたのか



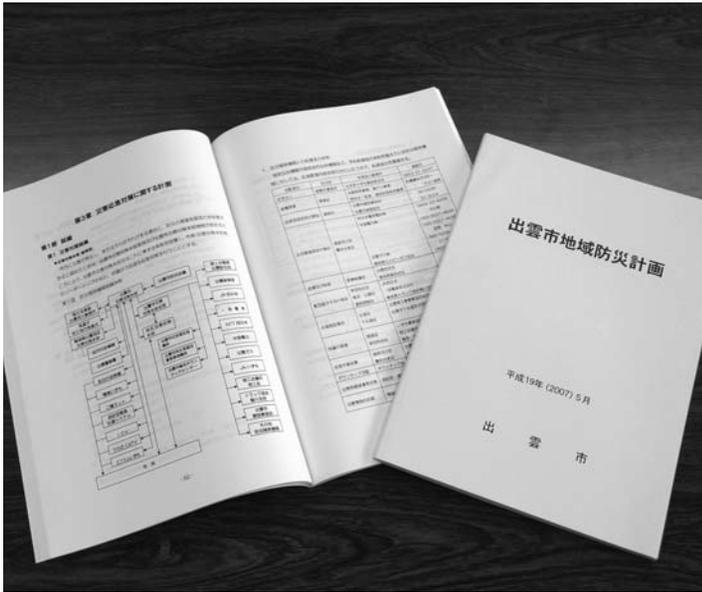
近年、防災に対する市民の関心は、高まる一方だ。出雲市では、毎年防災計画および水防計画が修正を加えながら公表されている。本市においても、昨年七月の豪雨災害を経験し、尊い人命をも失った。また、被害も甚大なものであった。このような教訓を踏ま

え、本年度の防災計画へ、どのような形で反映されたのか伺う。

市長

改正点の主なものは、避難所の災害に対応する状況を明示するとともに、一時避難所の考え方を明記しました。

二点目として、三十六地区に、地区災害対



公表されている出雲市地域防災計画

策本部を設置し、役割を明記しました。三点目は、平成十八年十月より「出雲市災害時要支援者ネットワーク事業」を行い、高齢者・障害者の避難を支援するために、社会福祉協議会などの協

力を得て、要支援者のリストアップを行いました。また、災害時において、対策本部に、広報班を本部直結とし、情報収集の強化を図るとともに、避難所の人員の強化に努めます。

萬代 弘美

住民の理解が得られない、市営住宅駐車場の有料化は撤回を



多くの市民は、増税や相次ぐ公共料金の値上げで暮らしの負担が増している。今回の駐車場整備を理由にした使用料の有料化は、一方的に市が実施するものである。

撤回を求める切実な声が、次々と上がっている。対話の行政というなら、市民のこうした声を切り捨てるべきではない。駐車場使用料撤回を、重ねて強く求める。

都市整備部長

これに対し、住民が署名を添えて駐車場使用料の有料化撤回と、高齢者が安心して入浴できる浴槽の改修や、畳、ふすまの張り替えなどの計画的な実施を求めている。住民の理解が得られない有料化は、直ちに撤回し、住宅環境の整備を優先すべきである。

駐車場整備と有料化を進める自治体が増えていることや、合併前から一部の市営住宅で有料化していることを踏まえ、駐車場を整備して、来年度から適正な使用料の負担を求めることとしました。これまで三十四カ所の住宅で、有料化説明



有料化される市営住宅駐車場（天神住宅）

会を開催し、おおむね理解を得られたと考えられています。まだ十分に理解を得られていない方については、引き続き説明を行い、理解を得るよう努めます。施設整備の改修などは、入居者の要望に配慮しながら取り組みます。

坂根 守

「出雲の國広域連携推進研究会」の提案を受けるのか



九月二十八日に、斐川町長から消防事務委託の継続について依頼があり、その中に「出雲の國広域連携推進研究会」の発足の提案があった。

市長は斐川町が合併協議を離脱したことが消防問題の発端であることを強調し、合併とは切り離せないことを主張され、しかも合併なら対等での考えも

示された。
これまでの経過や現状を考えると、市長の合併発言は斐川町側とは少し隔たりがあると思う。提案に対しての考えを伺う。

市長

任意合併協議会は、大変な戦いでした。しかし、平成十四年十二月二十七日に法定協議会がスタートし、基本的な点は異論がなかったのですが、斐川町が住民投票で離脱という形になり、残念に思います。
消防問題ですが、私

は三年の期限を切ってその間に合併協議もしていきたいと思えます。私と町長の立場では、やはり勉強会を重ねながら、行政の一本化に向かって道筋を求めざるべきだと思えます。

また、全市民の皆さんに私の考えを分かりやすい形として、メッセージを発信する必要があります。合併を前提として、提案の研究会も見通しをもって参画したいと考えています。

西尾 敬

鳥獣被害対策の徹底を



鰐淵地区のフォーラムで「鰐淵宣言」なるものを提言されたが、その具体的内容と可能性について伺う。また、具体的な被害対策について次の五点について伺う。
① 狩猟者の増加対策と、わな免許取得費の

- ② 助成について。
- ③ 捕獲、駆除の委託料および捕獲奨励金の引き上げについて。
- ④ 被害者と対策を考えるための講習会などの開催について。
- ⑤ 捕獲禁止区域の廃止について。
- ⑥ 被害対策協議会の活

用について。

市長

鰐淵宣言とは、弥山山地に限定したシカの生息域を明確に設定する、いわばサフアリパーク構想です。費用は約七億円を試算しています。現在、北山山系シカ対策研究会を立ち上げつつあり、十二月十八日には奈良のシカ公園を視察します。これが、根本的な解決策でないかと考えています。
① 狩猟者の増加対策と併せて、わなの免許取得費用の一部助成を検

杉谷 寿之

巨額な市税の滞納をどうするか



平成十八年度決算に対する監査報告書によれば、一般会計における市税の滞納が九億円、国保料金の滞納が六億六千万円であることが明らかに、監査委員から「ゆゆしき事態」であると指摘され、今後の収納対策を

平成十八年度決算に厳しく対応せよと迫られている。公平負担の観点からも、懸命に支払っていただいている市民に報いるためにも当然のことであり、きちんとした滞納対策をとるべきだ。その具体策を伺うとともに来年度に向けたマニフェス

討します。

- ② 業務委託費は検討しますが、奨励金五万円については難しいと思います。
- ③ 講習会については、実施を検討します。
- ④ 区域の解除などについては、県の判断になりますが、研究会において、自主的に県の了解を得ながらやるべき課題と考えています。
- ⑤ 協議会の活用については、鰐淵宣言を実施すべく、大研究会を発足し、総会を兼ねた戦略会議とします。



平成19年度から導入されたタイヤロック

財政部長

本年度に入り収納対策室の人員強化をしており、収納嘱託員の雇用や、差し押さえのためのタイヤロックを新たに導入しています。また、土日、夜間の収納相談日も増やして対応しています。

副市長

徴収に当たって職員は努力していますが、残念ながら滞納が年々増加しています。来年度は組織の見直しに併せて、きちんとした計画を立て改善をしていきます。

平成18年度歳入の収納状況

(千円)

区分	不納欠損額	収入未済額
一般会計	71,567	900,706
うち市税	66,616	782,778
国民健康保険料	49,362	665,151

※不納欠損額
市税などの市の収入について、何らかの理由で徴収ができず、今後も徴収できる見込みがないもの。
※収入未済額
市税などの市の収入のうち、当該年度末の期限までに納入されなかったもの。

遠藤 力一
学校の情報教育用パソコンと
情報教育について



高度情報通信ネットワーク社会が進展していく中で、子どもたちがコンピュータやインターネットを活用し、情報社会に主体的に対応できる情報活用能力を育成することが非常に重要になってきた。

①出雲市における子どもたちへの情報スキルのアップをどう図っていくか。
②オープン・ソース・ソフトウェアベース（OSS）のIT環境を学校に導入するために研究校を指定して、試験運用することを提



市内小学校のパソコン教室の授業風景

案する。
教育次長

情報化社会に適切に対応するため、ITを活用した教育を総合的な学習の時間や、理科、社会科などで実施しています。特に、中学校の技術・家庭科では、コンピュータを中心とする情報機器や、情報通信ネットワークの仕組み、基本的なソフトや、その利用方法について指導し、情報と発信の能力を育成しています。

市長

このOSSのシステム、研究指定校という方式ではなく、科学館にあるITコーナーを、IT学習研究センターというような位置付けにしてみたいと思います。ここで実験的にやって、各学校、お子さまも来ていただいて、先生方も勉強してもらおう。ITというのがこれからの重要な項目で、科学館で対応を強化したいと思います。

広戸 恭一

出雲市農業の産地維持に対する、
農業補助金制度について



農業は、国民の食糧を供給し、必要不可欠な事業であり、また社会的使命と考える。

そこで、国は全国一律の各種補助金、交付金を拠出し、県は単独補助事業を行い、出雲市は、3F事業を立ち上げ、生産農家の支援体制をとっている。今後、国・県の補助事業

産業振興部長

が縮減される中、市はどのような助成システムを考えているか伺う。

国の施策の対象となる担い手の育成・確保を図り、対象とならない多様な農業者に対しては、3F事業で市内農業の諸問題の解決に取り組んでいきます。



整備されたぶどうハウス

大型農業機械の更新には、国の「地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業」があり、おおむね半額助成となります。

水田の用排水路や揚水機の補修・改修は市の事業となり、その受益者負担率は、条例で事業費の1/3と定めています。

対象となる受益が広域であれば、全額市が負担できる場合もあり

ます。

ぶどうハウス、その他のハウスの加温機の省エネ加温機への切り替えは、資源エネルギー庁事業で、補助率1/3以内の助成があります。

いずれの事業も、細かな要件がありますので希望される時には、農林政策課または農林基盤課にご相談ください。

地区別地籍調査進捗率

平成19年3月末現在

地区	対象面積 (km ²)	調査済面積 (km ²)	進捗率 (%)
出雲	163	60	37
平田	126	7	6
佐田	109	46	42
大社	42	28	67
多伎	52	52	100
湖陵	22	22	100
合計	514	215	42

(出典: 出雲市建設事業部地籍調査課)

曾田 盛雄
地籍調査事業計画の進捗をよく求める



①本市の地籍調査事業の着手年度と、現在の進捗率、職員数および予算規模について伺う。

②土地改良法、土地区画整理法により、整備された土地については、地籍調査に活用できないか。

③荒廃した山、山林部の調査を平たん部より優先的に進めるべきと

考えるが、市長の所見を伺う。

市長

①地籍調査事業は昭和二十六年に制定された国土調査法に基づき行っており、昭和二十九年から旧市町において順次取り組みがなされています。現在、多伎、湖陵地区はすでに完了していますが、出雲、平田な

平成十七年三月の合併以後において、大社地域では、四件の火災が発生している。通信指令システム導入後の平成十九年九月には、杵築地区で貴重な生命が失われるという事態が発生した。「消防車両が火災現場に到着する時間が、合併前より遅くなっているのではないか」という市民の

長廻 利行
消防本部の火災出動体制



どの山林部の調査がいまだ多く残っており、全体としての進捗率は平成十八年度末で四二%となつています。地籍調査の専任の職員は本庁十名、平田支所三名、佐田支所五名です。また、本年度の予算規模は一億九千二百十万円です。

②土地改良法・土地区画整理法による換地処分した土地について

は、国土調査法第十九条第五項に基づき国に申請し、地籍調査と同等以上の精度または、正確さを有すると認められた時は、地籍調査の成果として指定される制度があります。

③地籍調査は、土地の戸籍調査ともいふべきものであり、早期に完了させる必要があると考えています。今後

不安の声を多く聞いている。そこで、通信システムの一元化なども踏まえ、火災の感知から出動命令、現場到着、水利部署までの経過および近隣各署からの出動体制がどのようになっているのか伺う。

消防長

先般、大社地域で一名の犠牲者を出した火



発信地表示システムにより通報地点をすばやく確定

災の場合、指令課への第一報は有線電話(大社ご縁ネット)からでした。有線電話は発信位置表示ができませんので、本システムが活用できなかったことで、通報者との聞き取り時間が多少かかったと思われまふ。ただし、具体的に検証したところ、通報から出動まで

二分五十八秒であり、平均的な所要時間より少し早いという結果でした。また、部隊が出動してから四分五十二秒後に放水を開始しています。現場までの距離、水利状況などから、的確な火災対応が行われたと考えています。

視察報告

国土交通省道路局に
おいて「国における道
路整備の中期計画」の
概要と国道・県道整備
の推進状況について、

『スマートICと二車線の道路整備の
取り組み』 平成19年10月24日～26日



水戸北スマートインターチェンジ

行政視察を行いました。
国における中期計画
において取り組む主な
政策課題は、①国際競

争力の確保②地域の自立と活力の強化③安全・安心の確保④環境の保全と豊かな生活環境の創造とする
とともに、既存高速ネットワークの効率的な活用・機能強化とITSの推進を揚げ、高速道路料金の引き下げ、スマートICの設置などが掲げられています。
スマートIC促進
に向け、常磐自動車道
本線直結型「水戸北スマートインターチェンジ社会実験」や茨城県の「一・五車線の道路整備の状況」などを現地視察しました。
今後、財政が厳しくなる中で、地域の発展のためにはいずれも有効的の道路整備であり、出雲市においても同様の事業を取り入れた展開が必要であり、参考になりました。
(多久和 康司 記)

※スマートIC

高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りができるように設置され、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジ。

※一・五車線の道路整備

比較的交通量の少ない道路において、一律的な二車線の整備ではなく、待避所の設置やカーブを緩やかにする改良など、一車線・二車線改良を適度に組み合わせ手法により行う道路整備。

観光・産業振興特別委員会

『街づくりに必要なものは』

平成19年10月30日～11月1日

観光政策の柱として、大社門前町を發展させ、出雲阿國座の歌
舞伎公演実現などの必要性を学ぶため、門前町の長野市の善光寺と



善光寺の街並整備状況

成田市の成田山地区、東京の株式会社松竹へ視察訪問しました。
街づくりは対照的で、善光寺が行政主導型、成田市が民間主導型でした。
善光寺は、寺の北側に大駐車場をつくったため、参道(仲見世)界隈いまではにぎわいが、そこから先に人がこない、大社と同じ悩みを持っていました。
成田市は、商店街であつた街並みを参道観光型として、業態転換を行い、生き残ろうとしていました。
下田さんという「うなぎや康生堂」店主が音頭をとって地元と行政を動かして、街づくりを推進、手間ひまをかけ地域住民からの盛り上がりで、勢いのあつた街をつくり出していました。
地元住民の熱意と意欲なくして、活性化は



「内子フレッシュパークからり」高木社長より説明を受ける

環境経済委員会

『大盛況の農産物直売所』

平成19年11月7日～9日

できないと再認識させられた視察でした。松竹では、長期の歌舞伎公演の難しさなどが明らかに、周辺

観光施設の充実も鍵になることを確認しました。

(遠藤 カ一 記)

愛媛県内子町の農産物直売所「株式会社内子フレッシュパークからり」を視察しました。

町内の農産物のイメージアップ、農業経営の安定、農業関連産業の創出を目指し、

①農業にサービスマスの視点を取り入れ、農業の総合産業化を進める。

②グリーンツーリズムなど、都会と農村の交流を図る。

③農業の情報化、農業情報の活用を図る。

以上の三点を柱に計画された施設でした。

直売所もパン工房もたくさんのお客でにぎわい、レストランも忙しいくらいの来客でした。

このような山の中で、なぜ年商六億七千万円の売り上げがあるのか、不思議に思えました。元町職員の高木社長から、経営理念を地元住民に時間をかけて説明し、そして理解を得ながら着実に実行すること、公設民営をうまく利用することなどの説明を聞き、納得することができました。

リーダーがしっかりと、地元に着着した運営をすれば、繁盛店は可能であると思えました。

(坂根 守 記)

文教厚生委員会

『日本一の子育て支援村』

平成19年11月12日～14日

長野県下條村は、小さな山あいの村で、「日本一の子育て支援村」で有名です。中学卒業までの医療費無料化、若者向け低家賃住宅など、徹底した支援が実を結び、出生率は上昇し、人口も増加してい

ます。

これらの財源については、職員削減、昼休みの消灯など、村全体の財政の節約によって捻出されています。図書館や文化ホールなど、施設も充実し、まさに「住みたくなるま



犬山市で説明を受ける

ち」でした。

続いて訪れたのは、昨年四月、文科省が実施した「全国学力テスト」に参加しなかった愛知県犬山市。「犬山の子は犬山で育てる」という考えのもと、少人数学級・少人数授業、副教本の作成など、独自の教育改革が進められています。

国は、競争原理の導入によって教育の活性化を図ろうとしていますが、「競争を持ち込むことは、豊かな人間関係を育む土壌をなくし、子ども同士や学校間、地域間に格差を生み、拡大させる」との犬山市の理念は大いに学ぶべきことであると感じました。

(大国 陽介 記)

建設水道委員会

『会津若松市—中心市街地にぎわいをとりもどす街づくり』平成19年11月14日～16日



「七日町通り」を視察

会津若松市の中心市街地「七日町通り」は、住民が自主的に景観協定を結び、それを行政が応援するかたちで歴史的建造物を核に古い建物を再生し、魅力あ

る街づくりに取り組んでいます。その一つに旧駅舎を利用した道の駅では、地場の物品販売や喫茶があり、十一月の寒い時期でも観光客などでにぎわっています。

ました。中心市街地活性化計画では、景観条例で高層マンションを規制し、中層で高密度、コンパクトな街づくりを目指しています。「歩いて暮らせる社会実験」を行い、車道を狭くして車の乗り入れを抑制するなど、高齢者が住める街づくりに配慮しています。

が維持管理できなくなった建物、景観を存続、活用するために、市民ファンドをつくり、市民の財産として守っていくことを模索されています。市民と行政が、街づくりに対する共通認識を持ち、信頼関係を軸に、さまざまな課題に取り組むことが出雲市でも大切だと実感しました。

(萬代 弘美 記)

庁舎建設特別委員会 『より良い庁舎を目指して』

平成19年11月19日～21日

- 近年、庁舎建設をされた愛知県鈴鹿市、岩倉市、静岡県掛川市を視察しました。視察調査項目は、次のとおりです。
- ① 工期について。
 - ② 庁舎建設費について。
 - ③ 財源について。
 - ④ 庁舎建設の基本方針について。
 - ⑤ 施設の概要について。

- ⑥ 維持管理費について。
 - ⑦ 省エネルギー対策について。
 - ⑧ 使用後の反省点と、その他建設にあたり、特に留意された事項について。
- 工期については、いずれも規模や設計仕様、立地条件などが異なり、工期の長短については一概に評価できませんでした。なお、



鈴鹿市の議場

本市の工期については、立地条件は最適で、工期内の完工が可能と推察されました。庁舎建設費と財源については、三市とも自主財源比率が高位で基金も潤沢で、一般財源の充当額は僅少。建設の基本方針は、各市一様に人と環境に優しく、災害に強い防災拠点として省エネルギー対策（自然採光、換気

システム、太陽光発電、地下水利用、深夜電力蓄熱利用など）を積極的に採用し、維持管理費の節減にも力点が置かれていました。また、すべての来庁者にわかりやすい案内表示が設置されていて、職員の執務効率向上にも役立っている点が印象的でした。

(直良 昌幸 記)



ポポヤンキュラ小学校の給食風景

『フィンランド視察報告』

欧州訪問団団長 坂根 守

友好交流都市のフィンランド共和国のカラヨキ市を、四名の議員団で訪問しました。

最初に日本大使館を表敬訪問、田中公使と玉生参事官と懇談。フィンランド共和国の概要や、友好的な対日感情、教育制度について勉強しました。政治体制の中で大統

領は女性、国会議員二百名のうち女性が八十四名、大臣二十名のうち十名が女性と聞き、男女共同参画が進んでいると思えました。さらに、大臣二名が産休中と聞き、驚きました。

国家教育委員会（日本の文科省）にて世界最高水準の教育制度に

ついて視察しました。

大学までの学費の無料化、少人数級教育、基礎学力の徹底化、進んだ外国語教育、質の高い教師の育成、受験競争のない制度など日本が学ぶことはたくさんありました。

カラヨキ市のポポヤンキュラ小学校では、児童と一緒に給食を食べました。パンと牛乳に芋の煮込みスープだけのシンプルなメニュー、しかもバイキング方式で食べ残しもなく、とても良いことと思えました。

私が慣れないフィンランド語で「フーバ・パイパー（こんにちは）」と声をかけたら、子ども

もたちから大きな声で「こんにちは」と返事が返り、とてもうれしく、国際交流の成果を感じました。

カラヨキ市長からは、カラヨキ市と出雲市の中学生が互いの国を訪問し、ホームステイを行う「友好の架け橋事業」を今後も更に発展させ、高校生の長期留学など検討したいとの申し入れがありました。

国際交流も絶えず発展させなければならぬと、強く感じた視察でした。

団 長 坂根 守
団 員 宮本 享
杉谷寿之 板倉明弘

『中国視察報告 西漢高速道路の完成』

中国訪問団団長 原 隆利

敦煌市は旧平田市時代に交流が始まり、両市の市長が相互訪問、小学校間の文化交流や、敦煌市の歌舞団が平田市を訪問された歴史がありました。

しかし、合併により、

平田市という名称が消滅した経過が正式に伝達されていないことを知り、このたび正式に報告することとしました。

敦煌市の会見には正副外事弁公室主任が出

席され、合併の経緯を報告し、変わらぬ交流を新出雲市と行いたい旨を伝えました。報告を了承され、観光が重要な産業である敦煌市を多くの出雲市民の方々に是非訪問していただきたいとの希望が述べられました。

また、地球温暖化の影響が、オアシスの街敦煌市に多大な影響を及ぼしはじめており、日本の優れた下水道技

術やまちづくりも学びたいとのことでした。

西安から漢中市へは完成したばかりの西漢高速道路を利用しました。三千メートル級の山が連なる秦嶺（しんれい）山脈の難所を、百三十カ所のトンネルと、五百四十カ所の橋梁で貫き、五年の歳月をかけて完成しました。四時間で結ぶ高速バスは、一日四十往復運行され、人の往来も



完成したばかりの西漢高速

物流も大きく進展するものと期待されています。漢中市の町中は格段に交通量が増えており、急速な車社会の到来を物語っていました。

来雲経験のある姚斌（ヤオビン）人大常委会副主任の歓迎を受け、高速道路の完成を祝すとともに、会談は

もっぱら急速な車の増加に対する、行政対応の話に終始しました。日本のこれまで採ってきた道路や街づくりに対する考え方を述

べ、意見交換を行いました。特に住宅団地や大型ショッピングの駐車場に強い関心を持たれた様子でした。今後の漢中市若手幹部研修生派遣の中で、先進事例を学ばせて欲しいとの希望が述べられ、友好的な協議を行いました。

団 長 原 隆利
副団長 山代裕始
団 員 荒木 孝
広戸恭一 曾田盛雄
山根貞守

『3市議会交流会議に臨んで』

議会運営委員会委員長 牛尾 尚義

出雲市と友好都市関係にある岡山県津山市、長崎県諫早市の議会との交流会が十一月八日、九日、出雲市で開催され、議長・副議長それに議会運営委員長長の三役が出席しました。

最初にそれぞれの市の現況および主要施策について報告があった後、いかにして議会運

営をスムーズに行うかなど、意見交換を行いました。

その中で共通した問題としては、一般質問において質問の前にひとしきり「演説」を行う人がいたり、津山市議会では、答弁を制限時間にカウントしないのでつい答弁が長くなり、全体の時間がずれ込む傾向にあることな

どの悩みが報告されました。

また出雲市議会は、申し合わせにより「所属する委員会の請願（陳情）には紹介議員とならない」としていますが、ほかはどのような状況か聞いてみました。諫早市の所見では「それを許すと、あらかじめ所属議員全員の紹介を取り付けてお

けば、すでに採択されたのも同然となり、審議が意味をなさなくなる。したがって、所属議員は紹介議員になることを遠慮すべきである。」とのことでした。禁止するのではなく自ら「遠慮する」というまい表現だと思いましたが。大いに参考になりました。

編集後記

今回の表紙を飾っているのは、新成人のみなさんです。一月六日に行われた成人式には約千二百人の新成人が参加しました。

色鮮やかな振り袖姿を見ていると、自分自身が二十歳だった頃を思い出します。二十歳とはいっても大人になりきれず、それでいてひたすら夢を追い続ける：今ではずいぶん変化してしまっているようです。

新成人のような夢と希望を思い出し、日常の活動に取り組みたいものです。

新しい年のスタートです。「いずも市議会だより」が、市民と議会との架け橋となるよう「初心」を忘れることなく、努力していく決意です。本年も「いずも市議会だより」をよろしく願っています。

〈大國 陽介〉



津山市・諫早市と意見交換

議会に関する問い合わせは

〒693-8530 出雲市今市町109-1

出雲市議会事務局

電話(0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720

ホームページ <http://www.city.izumo.shimane.jp/>

出雲市ホームページの中の [出雲市議会](#) をクリック

メール gikai@city.izumo.shimane.jp

広報委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 勝部 順子 |
| 副委員長 | 松村 豪人 |
| 委員 | 大國 陽介 |
| 委員 | 山根 貞守 |
| 委員 | 萬代 輝正 |
| 委員 | 板倉 一郎 |
| 委員 | 石川 寿樹 |
| 委員 | 高野 成俊 |
| 委員 | 広戸 恭一 |
| 委員 | 小汀 英久 |
| 委員 | 板倉 明弘 |
| 委員 | 杉谷 寿之 |
| 委員 | 宮本 享 |
| 委員 | 今岡 一朗 |